

活力みなぎる緑の郷土

議会だより

なかしべつ



冬仕度も間近な円山公園のS L

主な内容

行政報告・教育報告	P 3
一般質問	P 4 ~ 6
議会議決	P 7
条例制定	P 8
議会広報研修・行事	P 9
議員研修	P 10 ~ 11

平成15年10月

No. 59

平成15年

9月定例会

9月11日～18日まで開催されました。

一般行政報告・教育行政報告の他、一般質問には3名の議員が6項目について理事者や教育委員会の考えを質しました。

この他、一般会計補正予算、特別・企業会計補正予算、公園条例、特定公共賃貸住宅条例、報告、人事案件、承認、意見案など16件を原案通り可決しました。



営業を開始した中標津郵便局

一般行政報告

要望等

根室地方総合開発期成会として、道開発局ほか関係各庁、国会議員に対し、管内主要案件である酪農経営活性化ほか6件、また、釧根トライアングル整備構想連絡会議として議長にも出席を願い地域高規格道路関係の早期整備促進について要請。

北海道道路整備促進会・北海道住宅建設促進協会として、さまざまな要請活動を実施。

さらに、中川昭一元農林水産大臣が釧路に來られた際には、酪農経営活性化・廃棄物処理対策・道路網の整備等について要請を行いました。



法面決壊（農業高校）

寄贈金品

町に対し、現金で3件、2百万円、物品で4件、社会福祉協議会に対しても現金で34件、2百5万1千9百88円の善意が寄せられました。

中標津空港の利用状況

平成14年度においては東京便・札幌便合わせて21万7千6百48人の利用客数で、前年比4・27ポイント減少となりましたが搭乗率では2年連続で増加となり年間搭乗率60・87%を確保。今後においても利用促進期成会および関係機関一丸となり、なお一層の利用促進に取り組んでまいります。

台風10号による被害状況

本町の台風10号による公共施設の被害は、農業高校グラウンドの法面決壊ほか、道路の路肩、横断管崩壊、木道破損など11路線15箇所、被害総額は4千6百万円となりました。

職員の対応は、警報発表と同時に登庁し、連絡調整や情報収集、現地確認、被害状況の把握などをしました。

根室管内4町任意合併検討協議会の協議状況

6月に第一回目の会議を開催以来種々協議を行ってきましたが、合併を前提としないで、4町が合併した場合の将来像の検討を進め、法定協議会へ移行するかどうかの判断は平成15年12月を目標に結論を出すことを確認いたしました。また、住民説明資料も作成しながら、平成17年3月末の特定期限を十分認識し、事務作業等を進めることとしました。

広域連合共同ごみ処理施設建設地確定経過

この建設地は二転三転し、最終的に別海町平系地区に決定しました。

今後、生活環境影響調査等を行い、平成16年度着手、同18年度竣工を目標に事業を進めるべく作業に取り組んでおります。

平成15年度建設工事の発注状況

9月5日現在で発注件数百43件、率では70・8%、金額では23億5千25万5千円、率にして84・8%となっております。

教育行政報告

各種大会出場結果

スポーツ関係では丸山フアィターズ女子バレーで二年ぶり二度目の優勝を果たし全国大会に出場のほか、水泳や野球等各種のスポーツ大会に出場し、好成績を収めました。また、文化部門では、吹奏楽・合唱などに出場して高い

児童生徒交流事業

第11回友好自治体スポーツ交流会が川崎市で開催され、また「川崎市ふれあいサマーキャンプ」を当町で実施、児童生徒が大いに交流を深めました。

道徳教育特別非常勤講師配置事業

この事業は講師を本町の道徳教育の授業を中心に活用する事業で、若竹小学校・俵橋小学校・俣落中学校の3校をモデル校と指定して、幅広い経験や優れた知識・技術を有する地域の社会人の方に、特別非常勤講師としてお願いをし、子どもの心に響く道徳教育を推進してまいります。

農業高校生の海外派遣

昨年度に引き続き7月21日～8月2日の13日間、ドイツ・スイス・フランスの3ヶ国にて研修。

これからの北海道農業が取り組まなければならない課題を生徒自らが体験と考察をしてきました。



川崎市児童の乳製品づくり

一般質問

あなたにかわって町政の考え方を質す

3名の議員が町理事者に質問しました。
その内容を要約し掲載します。

来年度予算編成の考え方は

効率的な通年予算を

殿守 富 議員
町 長

質問

一点目、町長は本年度の施政方針の中で、協働型町づくりを旨指すと述べているが、予算編成に反映する考えを聞きたい。
二点目、公共施設の民間委託について国会で地方自治法が成立し、公共施設の管理運営が株式会社等も委託管理ができる様になった。公共施設の効率性を高める取り組みが必要と考える。

三点目、財政環境はますます厳しい状態で、行政評価制度の導入が必要と考える。
四点目、来年度は町長の改選期の年で、本来ならば骨格予算だが、日本経済は低迷し、中標準も商工業を取り巻く状況は、相当冷え込んでいる。骨格予算にこだわらず前向きな予算編成をすべきと思うが、町長の考えを。

町長答弁

一点目「協働の町づくり」は地方分権の推進や町民意識の成熟化の中、町民が行政に積極的に参加でき、コスト意識を持ち、成果と責任を共有したなかで予算に反映したい。
二点目、行政と民間との適切な役割分担のもと、効率性や行政の責任確保等の視点を踏まえ、民間企業への委託を視野に入れ推進を。
三点目、行政評価制度導入は少子高齢化の進行や将来人口減少・財政状況を考え、効果の薄れた事業は見直し、より大きな



役場庁舎内

成果を生み出す事業への転換を図る一つの手法と考える。
四点目、町長の任期満了は来年九月ですが、基本的に景気動向や活性化を考えた時、特殊な物を除き通年予算で編成すべきと考えています。

ダンボールコンポストによる生ごみ減量化を

W橋一爾 議員

町内会等と連携し推進

町 長

質問

本町の家庭から排出される可燃ごみが、年間7千5百トンと計算されており、明年4月より根



ダンボールコンポスト

室市に焼却処理を委託することになっておりますが、年間約2億円の経費がかかります。
可燃ごみ7千5百トンの内40%が生ごみとして排出され、約6千万円の税金が使われます。
埋立処分場の処理は、メタンガスや炭酸ガスを大量に発生させ、環境汚染になっていきます。

「生ごみ」の減量化に、ダンボールコンポストを使用する方法でピートモスト、もみ殻くん

炭をダンボールの中で「生ごみ」と掻き混ぜるだけで分解し、良質の堆肥が出来ます。
町では、生ごみ減量化のためコンポストの普及に取り組んでおりますが、低温や冬期間は難点があります。
生ごみ減量化と、環境を守るためにダンボールコンポストの普及を提言し、今後の取り組みを伺います。

今、社会経済活動が拡大し、国民生活が物質的に豊かになる一方で、廃棄物の排出量が増大

し、その処理に多くの問題をかかえており、抜本的解決の方策として循環型社会を形成することにより発生の抑制や、再使用・再資源化を進めるとともに、安全で適正に処理することが求められております。

町長答弁

その一つとして、ごみの減量化と、資源化があり、ダンボールコンポストもその一つです。
当町も、平成4年からコンポストの普及に取り組んでおり、平成15年8月までにコンポスト千4百63基、平成12年度から電動コンポスト93基にも補助を行ってききました。

ダンボールコンポストは低価格で、取扱も簡単であり室内に
おいても臭いも少ないことから、
冬期間も有効と聞いております。

循環型社会の実現に、町内会
やごみ減量化推進審議会・取組

み団体等と連携を図りながら推
進してまいります。

堆肥づくりを環境教育で

W橋一爾 議員

学校・PTAとも連携を

教育 長

質問

学校給食の食べ残しを、生ごみとして廃棄処分されていますが、ダンボールコンポストで、良質の堆肥をつくり、学校花壇などに利用し、ダンボールの中で分解され、ミクロの不思議な世界や、土が生命であることを

教えてくれる環境教育への提言をいたします。

教育長答弁

学校給食は児童生徒の心身の健全な発達に役立っており、貴重な食べ物を残さない指導や、成長過程の子ども達にはバラ



学校農園風景

スの取れた給食を提供してあります。残さないで食べる指導をしているが、その日の体調、献立により食べ残しがどうしても出ます。小中学校から給食センターに残食として戻ってくる量は、一日平均で48ℓポ

リバケツに4杯程度あります。ご提言の「生ごみが良質の堆肥になる」ことの学習は、非常に貴重なことと考えます。生ごみの再利用など「土が生命の源」であることの環境教育は、日常的には家庭で親子の共同作業で行う習慣が最も大切であり、教育上効果が高いと考えられます。学校と連携を取り、PTA等へも是非奨励・啓発させてまいります。

地域振興・企画組織の必要性

松村康弘 議員

地域のみならず連携して対応

町 長

質問

6月定例会で「稼ぐ役場意識について」質問し、答弁は民間で出来る事は民間で、と言うものでしたが、では例えば池田町のワインによる町おこしのようなどのようにしたら立ち上げることができでしょうか？

最近話題となった富良野と羅白の「北の国からバスポート」

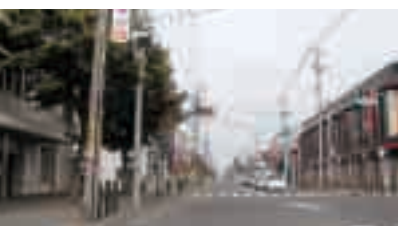
に広域的な地域流通貨幣を発行し、もって地域産品の割引と拡販に結びつけるなどの発想があったとして、これは行政だけでも出来ない。民間だけでもできない事業だと考えますが、このような民間的なアイデアを発想し・研究し・企画実行していく様な、官でもない・民でもない組織が、我が町には必要な時期ではないでしょうか。

町長答弁

地域流通貨幣については興味深いアイデアであり、スローフード・スローツーリズムとともに、地域の循環型経済、持続可能なシステムに狙いがあり、由布院は、この点にこだわって成功したのですが、当町にあっては、地域の皆さんと十分に連携し、ポトムアップ型で計画・実

行を進めていき、一方庁舎内的な対応としては、現下の状況に鑑み、行政の効率化を図り、財政危機の克服と多様化する行政サービスの向上を見据え、町民とのパートナーシップの構築や、常なる意識改革に挑戦するよう、な、職員の育成に積極的に取り組んでまいります。

昨年、九州を視察しましたが、由布院の「総合観光事務所」が、これに当たります。このような組織を立ち上げることを早急に検討しませんか。



市街地風景

1スローフード：ファーストフードに対抗した食文化で地場産品を使った家庭料理（地場の食材を使った食べ物）
2スローツーリズム：これまでの団体旅行に対抗した家族単位の旅行商品を主流に長期滞在型小旅行（ゆっくりと見て廻る旅行）
3ポトムアップ：トップダウンに対してより多くの意見をまとめて提案するシステム（計画段階から地域の意見を取入れた提案）

自主防災組織の立ち上げ

松村康弘 議員

今後も積極的な支援を

町 長

町長答弁

大雨警報が出た時点で、建設水道部の職員を招集し、機動的に対応している。
これに地域住民にも参加してもらおうということは事故に巻きこまれる可能性もあり、慎重な対応が必要です。二次災害防止の視点から町内会等から寄せられる情報は貴重なものであり、地域防災計画においては、町内会の役割を通報・避難所の防災管理など重要な業務に協力することとなっております。

あり、各種訓練が実施されています。今後も自主防災組織の結成に対して積極的な支援や指導に努めてまいります。

質問

8月の台風10号の被害は、標津川の上流域の川岸の大木が次々と倒れ、流れの中に取り残されているのを見ると、日高地方のことなどは云っておられず、もし、これらの流木が橋桁に引っかかってダムとなれば、当町でも洪水の可能性はあったのですが、関係官庁との連携はどうなっていますか。

4千6百万円とのことですが、この内訳は、長大な農道における路肩の流失や流水管路周辺の土砂の流失によるものが多く、町内会の（特に周辺地域は水防訓練を受けた消防団員も充実しており）自主的な見廻り、特に落葉による雨水受口のチェックや草刈りなどにより、相当部分出費を抑制できると考えますが、いかがですか。

住民自らが「自分達の地域は自分達で守る」「自分のことは自分で守る」という意識は重要で



標津川の流木

高規格道路のアクセスポイント

松村康弘 議員

国の計画段階で協議

町 長

当町の都市計画に非常に大きな影響を与えることであり、早急に住民参加の議論をして、アクセスポイントを定め、高規格道路の工事進展のアピールの寄り処とすべきではないでしょうか。

立等着工準備の検討を行っています。完成年度は明らかにならず、さらに、それ以後の整備になる中標津周辺のルートは事業年度が未定であり、予想がつかない状況であります。

町長答弁

国の財政は厳しく、高規格道路事業に与える影響を大変懸念しています。

高規格道路のルートはバイパス、町立病院とのアクセスなど町としても、非常に重要な問題であると認識し、事業の実施が想定される状況になりましたら、事前にルート等に係る協議や住民への情報提供を行っていくと考えています。

質問

高規格道路の延長工事が伸び悩みの傾向を見せていますが、この道路は中標津町のどの位置に入っ

てくるのでしょうか。
一方現バイパス沿いに大型店の移転や進出が企画され、彼等にとっても現バイパスが国道であり続けるか否かは大きな判断材料であります。空港を玄関口とする町にとっては「市街地と空港の間にアクセスさせるべきだ」との意見もあります。どちらにしても、この結果は

春別道路間は来年完成しますが、平成7年に調査区間の指定を受けた阿歴内道路5.4kmの区間は環境影響評価・事業手法の確

定されています。春別道路は来年完成しますが、平成7年に調査区間の指定を受けた阿歴内道路5.4kmの区間は環境影響評価・事業手法の確



9月定例会で決まりました

平成15年9月11日から18日まで開催し、議決された主なものを掲載いたします。

補正予算（15年度分）

一般会計は

3億2千995万3千円を追加し、147億2千434万円となりました。

- ・主なものとして根室管内4町任意合併検討協議会負担金93万9千円。
- ・病院事業会計繰出金1億9千377万6千円。
- ・根室市へのゴミ処理手数料などで5千1万8千円。
- ・農林業費で5千753万円。
- ・運動公園施設管理委託料で1千764万7千円が補正されました。

国民健康保険事業特別会計は

97万2千円を追加し、24億4千108万5千円となりました。

介護保険事業特別会計は

2千913万6千円を追加し、9億4千675万1千円となりました。

町立中標津病院事業会計は

1億4千543万円減額し、49億780万円となりました。

決算審査特別委員会

平成14年度各会計決算の認定は、特別委員会に付託され、決算審査特別委員会が設置されました。

委員長	萬	和	男
副委員長	藤	久	雄
委員	大	明	美
	赤	利	夫
	波	芳	夫
	江	一	勉
	谷	辰	爾
	達	根	美
	橋	本	剛
	安		
	西		
	杉		



専決処分の承認

一般会計補正で台風十号による災害復旧費4千6百万円を承認しました。
 下水道事業特別会計補正で公債費8千2百10万円を承認しました。

意見書

30人以下学級早期実現など教育予算充実並びに義務教育国庫負担制度の堅持を求める意見書
 提出者 高田 重樹 議員

道路整備に関する意見書
 提出者 佐々木輝夫 議員

北海道新幹線の建設促進を求める意見書
 提出者 殿守 富 議員

人事案件

中標津町教育委員会委員の任命に同意しました。



・近野了二氏
 中標津町東5条南7丁目
 昭和11年8月22日生
 任期、平成15年10月1日～平成19年9月30日



・坂脇孝一郎氏
 中標津町西2条南2丁目
 昭和26年4月6日生
 任期、平成15年10月1日～平成16年10月21日
 （前任者の残任期間）

中標津町固定資産評価審査委員会委員の選任に同意しました。



・清原賢一氏
 中標津町字武佐20線
 昭和17年6月20日生
 任期、平成15年10月10日～平成18年10月9日



人権擁護委員の推薦に同意しました。
 ・秋山登氏
 中標津町東7条南7丁目
 昭和10年7月26日生
 任期、法務大臣の委嘱の日から3年間

中標津町公園条例等の一部を改正する条例制定

冬期スポーツも有料に（中学生以下無料）



現在、建設を進めている、中標津町運動公園のスピードスケート場・アイスホッケー場及び管理棟が、今年の12月に使用できることになりました。そのため、新たな料金を決めました。使用料については、下表のとおりです。（消費税は含まれていません）

中標津町営スピードスケート場

区 分		単 位	使 用 料			備 考
			1回券	6回券	1シーズン券	
個人使用	中学生以下	30分・半面	無 料			
	一般・高校生		96円	477円	1,429円	
専用使用	団 体	30分・半面	477円			30分未満は30分とする。
	営利を目的とする場合		953円			

中標津町営アイスホッケー場

区 分		単 位	使 用 料			備 考
			1回券	6回券	1シーズン券	
個人使用	中学生以下	30分	無 料			
	一般・高校生		96円	477円	1,429円	
専用使用	団 体	30分	477円			30分未満は30分とする。
	営利を目的とする場合		953円			

中標津町運動公園管理棟

種類及び名称	単 位	使 用 料		備 考
		一 般・高 校 生		
会 議 室	団 体 1 区 分	381円		1区分とは午前の区分を9時から正午まで、午後の区分を正午から午後5時まで、夜間の区分を午後5時から午後10時までをいう。 使用時間が1区分の時間に満たない場合であっても、当該時間使用したものとみなす。 1区分の時間を超過して使用する場合は、各区分の金額を合算した額とする。 営利を目的とする場合は、定める額の2倍の額とする。
ミーティングルーム		191円		
シャワールーム	個 人	96円		
持ち込み器具 電気料金		消費電力量の総計が10kwhまでは96円とし1kwh増すごとに20円		

中標津町特定公共賃貸住宅条例制定

所得の多い方も入居できます

この条例制定は「特定優良賃貸住宅の供給の促進に関する法律（平成5年法律第52号）」が施行され、平成9年度に策定された「中標津町公共賃貸住宅再生マスタープラン」により、整備を進めておりました。町営住宅西町団地1号棟24戸の内5戸を、特定公共賃貸住宅とするものです。

制度の内容ですが、公営住宅法では、入居される方の所得に制限がありましたが「特定優良賃貸住宅の供給の促進に関する法律」では、中堅所得者を対象にして、所得の制限を上げ、公営住宅法に定める収入を超えた方にも、町営住宅をお貸しできる制度です。

ただし、現時点では西町団地の5戸のみが対象で、他の団地は対象となりません。



西町団地

議会広報研修会

見出しだけでわかる紙面に!!

議会広報の技術向上をはかる目的で開かれている「議会広報研修会」が、8月22日に札幌市で行われ、道東・道北から約2百30名が参加しました。

当議会からは、広報委員5名の内4名が出席し、写真の撮り方とトリミング、見出しのつけ方と必要性、記事の書き方と中身。

などの、広報紙の作り方について、広報評論家「保坂政和氏」の講演を受けました。

議会広報は、一定の制約のなかではありますが、スポーツ紙に見られるタイトルの重要性を特に強調されていました。

道内の議会のなかで、事務局や専門家にまかせている広報紙もあるようですが、中標津では、記事や原稿・写真・見出し・紙面のはりつけ・校正など、全てを広報委員5名で行っています。



「議会議員が一字一句まで全てを作るより、他の仕事があるだろう」との指摘も寄せられますが、なんとか自分達の手で発行していきたいと考えています。

この研修で得ることがたくさんありましたので、これを機に「議会だより」の一層の充実をはかってまいります。

平成15年7月から9月までの行事関係

期日	行事内容	出席者等	期日	行事内容	出席者等
7月2・4日	議員研修(北見市)	全議員欠6人	29日	建設常任委員会	委員欠1人
3日	道東4支庁管内町村議会議員研修会(北見市)	全議員欠6人	31日	平成15年度中標津消防団総合訓練	議長 他
5日	第4回釧根林活連絡会議総会	副議長	9月1日	総務常任委員会	委員
8日	建設常任委員会	委員	2日	根室北部廃棄物処理広域連合議会運営委員会	議長・文教委員長
8~9日	根室地方総合開発期成会中央要望(北海道開発局・中央省庁など)	議長	3日	平成15年度北海道森林・林業・林産業活性化促進議員連盟連絡会総会	副議長・産業委員長
9日	議会広報特別委員会	委員欠1人	3日	第2回根室管内4町任意合併検討協議会	議長・総務委員長
11日	産業・建設・総務・文教厚生常任委員会	委員欠産1・建1・総1・文2	9日	議会運営委員会	委員
14日	議会広報特別委員会	委員欠1人	10日	建設常任委員会	委員欠1人
16日	議会広報特別委員会	委員欠1人	11日	中標津町議会9月定例会(1日目)	全議員
17日	総務常任委員会	委員欠1人	12日	産業常任委員会・建設常任委員会	委員
24日	文教厚生常任委員会	委員	16日	総務常任委員会・文教厚生常任委員会	委員
24日	北海道林活議連絡会及び北海道森林・林業・木材産業活性化を促進するための連絡会議・合同役員会	副議長	17日	議会運営委員会	委員
8月15日	中標津町殉公者之碑参拝・中標津町殉公者追悼式	議長 他	18日	中標津町議会9月定例会(2日目)	全議員
19日	愛媛県東予市議会議員行政視察	議長	22日	議会広報特別委員会	委員
22日	議会広報研修会(札幌市)	委員欠1人	29日	議会広報特別委員会	委員
26日	文教厚生常任委員会	委員	30日	議員道内研修(総務・文教厚生常任委員会)30日~10月4日(名寄市・虻田町・伊達市)	委員欠1人

総務・文教常任委員会

合同の道内行政視察

名寄地区一般廃棄物 処理施設炭化センター

名寄地区一市三町村では、炭化センター方式を採用しました。

同センターは一日(16時間)当たり、20tの処理能力を持ち、外熱式ロータリーキルン炉で生ゴミ等を加熱し、炭化させ、高炉用のガス抑制材等として再利用する道内で初めての方式で、総工費は約16億円でした。

また、ダイオキシン類防止対策にも優れ、汚水や排水も無放流式で処理水を場外に出しません。



金属混入の説明

しかし、生ゴミは水分も多く、乾燥のために時間と燃料がかかる課題もあります。

金物等炭化にならないものが混入するため、利用者の理解と協力がさらに必要となります。

炭化材の再利用も室蘭の製鉄所までの運搬費負担が大きいこと等、トータルとして経済負担は増大するとの印象を受けました。

伊達市グループホーム 「アウル」

アウルはふくろうの意味で、家を守る神様と言われ「不苦勞・福来」と縁起も良く、ホームの意義や想いが込められています。

ホームを利用出来るのは介護認定1から5までの痴呆のある人です。

グループホームとは痴呆障害を持ってしまった人が、個室に入居し、大家族が住んでいる趣きの中で普通の生活を営むところです。

ホーム生活は、常時医療処置が必要な状態となるまで可能です。

スタッフは介護保険の基準



アウルの経営説明(理事長室)

により、昼夜常駐しております。

入居費用は本人負担月額12万円程度かかります。

居室面積は14・4㎡で共用設備も広く、明るく、エレベーターもある木造2階建、約7百㎡の建物です。

アウルの建物は、不動産会社が建設し、(有)ゲトライフ社が20年賦で管理・運営を行い、行政の補助は受けていませんでした。

ホームは住宅街の中であり、日常地域住民ともふれ合うこともでき、中標準においても参考になる事例と思いました。



間近で噴煙を上げる噴火口をバックに

虻田町災害復旧と 地域防災計画

虻田町は、自然豊かな気候温暖で、北海道の湘南地方と言われ河爺湖温泉は道内有数の観光地です。

面積約67km²、人口9千5百人の小さな町です。

平成12年3月の有珠山西麓の噴火は、事前避難により死者はなかったものの、地殻変動・熱泥流・噴石等により道路・建物に大きな被害がありました。

有珠山噴火災害の復旧・復興は急ピッチで進められました。

国の防災基本計画及び北海道の地域防災計画の修正等がなされ、現在新たな計画の策

定が進められています。

視察議

員団は噴火口の近間で徒歩で登って現地を確認しました。

した。

古い建物の
利活用に向けて

日本銀行旧小樽支店

金融資料館

日本銀行旧小樽支店は、辰野金吾とその弟子である平野守平治が設計し、明治45年完成。北海道の金融の拠点となりました。



日銀職員による説明

当資料館は、歴史的な建物の雰囲気を活かしながら、日本銀行の歴史や業務、金融の仕組みなどをわかりやすく解説していますが、保存と維持管理は、小樽市と商工会議所・地域住民が一体となって国や道に働きかけ、ようやく日本銀行が管理運営をすることになりました。

日銀の職員が説明員として

配置され、有効に活用されています。
昭和49年には国の重要文化財に指定されています。

旧日本郵船株式会社

小樽支店

明治37年着工、同39年10月落成、近世ヨーロッパ復興様式の石造二階建建築です。

また、明治39年11月にはポーツマス条約に基づく日露の樺太国境画定会議が二階会議室で開かれ、会議終了後、隣の貴賓室で祝盃が交わされたという歴史的遺構でもあります。

昭和30年、市が日本郵船から譲り受け、翌31年から小樽市博物館として利用され、昭和44年3月に明治後期の代表的石造建築として国の重要文化財に指定されました。

しかし、年ごとに老朽化が目立ち、昭和62年6月に全面修理をして、小樽を代表する明治後期の商業建築が優れた文化遺産として甦りました。入館料で施設の維持もしていません。

管内議員32名で国有林視察



伊藤署長（中央）から説明を受ける

森林・林業・林産業活性化管内市・町議員連盟では、10月7日根釧東部森林管理署の案内で羅臼町国有林内の精神川「地すべり防止工事」が行われた場所を視察しました。

管内一市四町より32名の議会議員が参加し、羅臼岳を背に伊藤管理署長の説明を受けました。
この場所は昭和47年9月の20号台風により道東地方は豪雨と強風に襲われ、羅臼町でも日雨量が3百26ミリの集中豪雨に見舞われました。

精神川の地すべり地から土砂が流出して海水を汚濁し、サケ・マスの回遊が阻害され、この年秋の漁獲高は著しく減少していました。

羅臼町から水質保全の対策要望をうけて林野庁による「地すべり防止工事・災害関連緊急復旧工事」として23億円を投じ、昭和49年より平成14年まで工事が進められました。

羅臼町役場会議室で林業全般についての意見交換があり、林野庁の統廃合計画の中で北海道森林管理局にある五つの分局が平成15年度末で廃止となるが道東地域の国有林管理に当たっている帯広分局の機能を出来るだけ残す運動の成果などの報告がありました。

森林・林業・林産業活性化議員連盟は超党派の議員によって構成されており、全国的な組織とし

て国有林野事業の経営改善に對する要請活動・地球温暖化防止対策の推進・森林による国土保全対策の充実・森林整備を目的とする新たな財源確保対策の検討などの取り組みを行っています。



土砂の流出が防止された精神川

養老牛温泉 紅葉まつり

第37回養老牛温泉紅葉まつりが10月5日快晴の中行われました。会場では伯爵いものつかみ取りや歌謡ショー、和太鼓の演奏、ヤマベすくい競争などで賑わいました。また、ジャンボハンバーグやじゃがいもの塩煮を無料提供、秋の味覚を堪能していました。



写真提供：町経済振興課

議会だよりに対するご意見をお寄せ下さい。

中標津町役場 TEL(01537)3-3111
FAX(01537)3-5333

議会事務局 内線502・503 にご連絡を...

ホームページは http://www.aurens.or.jp/hp/nakasi_t/
メールは nakasi-t@arens.or.jp

発行 / 中標津町議会

編集 / 中標津町議会広報特別委員会

今回は視察研修の記事が多くなっています。視察はとかく観光旅行のように言われがちですが、当議会は、宿泊先はビジネスホテルを利用し、視察と研修をしっかりとこなし、必ず報告書も作成しています。他の地域で行っている事業やサービスの内容を勉強して、中標津町のために役立つように今後も視察先を含め、より充実した研修に努めます。

編集を
終えて

